



羅針盤

発行:サイクラーズ株式会社
編集:サイクラーズ株式会社 大森オフィス
東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8F
電話: 03-6410-8797
URL : <https://www.cyclers.co.jp/>

Market Forecasts by Y. san -3月-

2月予測の自己評価 鉄スクラップ;× 銅;× アルミ;×

鉄スクラップ →
2月は鉄スクラップ価格の東京製鉄宇都宮工場特級価格は40,000円/トンでスタートして、27日現在変わらず。3月は市中の発生源、電炉メーカーの減産、円高傾向で考えると、上がる要素も下がる要素も見当たりません。横ばいでしょう。

銅 →
2月はLME8,800ドル/トン台、国内銅建値は1,440,000円/トンから始まり、26日時点LME9,400ドル/トン台、国内銅建値1,440,000円/トン。国内銅建値の上げ余地は20,000円/トンあり。3月は、為替の動向、中国の銅需要か考えると月初は上がると思われませんが、最終的には横ばいになるでしょう。

アルミ →
2月のLMEは 2,600ドル/トン台でスタート。缶と上物は価格が上がっていますが、スノ物は特に変わらず。27日現在LME2,600ドル/台でした。3月に関しては、新塊の高値どまり、円高、トランプ氏の関税等を考えると横ばいでしょう。

産業廃棄物
産廃や解体業界でも、委託契約書や請負契約書の電子化が進んでいます。DX推進の第一歩で、ペーパーレスの流れの一環です。「IT音痴だから」「アナログだから」と笑って済ませる時代は、もはや終わりに近づいており、避けて通れない現実。ただ、一度受け入れれば、その利便さを実感できるはずで

Topics

産業廃棄物処理業界 景況動向調査結果

昨年1月に続き「産業廃棄物処理業界景況動向調査結果」のご紹介です。

本調査は、景況判断、売上高、処理量、契約単価、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数について、(公社)全国産業資源循環連合会が四半期毎に調査し公開されています。

その調査結果は「D.I.」という指数化した指標を使って判断しております。D.I.とはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」・「増加」したなどとする企業割合から「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値です。(羅針盤No.68をご参照ください)

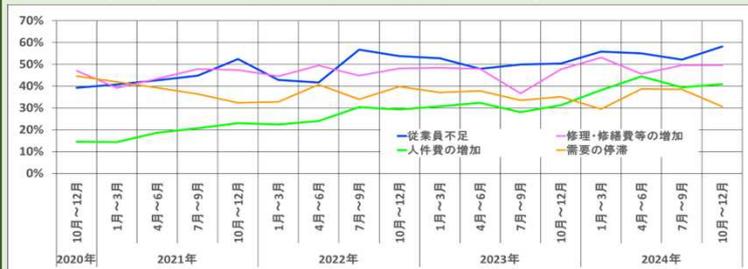
次のグラフは、2018年1月～3月期からの景況判断、売上高、処理量、営業利益のD.I.推移を約7年間に亘り示したもので、新型コロナウイルス感染が拡大し始めた2020年4月～6月期は全ての項目で大きく値を下げましたが、売上高と処理量は例年通り10月～12月期には“0”を超えています。

売上高と処理量は、営業利益との間で各々ある程度の相関があるように見えますが、営業利益の D.I.が売上高や処理量のように大きく“0”を超すことはありませんでした。また、景況判断も同じく“0”を超すことなく推移しております。



下のグラフは経営上の問題点を全国の会員企業にアンケート調査した結果(複数回答可)で、データの連続性を確認できる2020年10月～12月期から2024年10月～12月期までの推移を示しました。

グラフ内の項目(問題点)は、2024年10月～12月期でアンケートの項目中の上位4位までの項目に絞って掲載しました。



人件費の増加(緑の線)が問題点であるとの意識が特に増えており、2024年4月～6月期をピークに下げてはいるが10月～12月期は41.0%と2020年末の14.6%から約2.8倍になっております。また、従業員不足は每期ほぼトップで推移しており、緩やかですが徐々に増える傾向にあります。その他に修理・修繕費等の増加、需要の停滞も高い問題点として挙げられております。

出典及び加工した資料:公益社団法人 全国産業資源循環連合会ホームページ <https://www.zensanpairen.or.jp/activities/report/>

Series

人生とは、日々挑戦



サイクラーズ グループ戦略部
松村 拓紀

本稿を担当して、改めてこれまでの足跡を振り返ってみると、傍には常に自転車があり、多くの方々との繋がりを持った人生でした。

私は自転車を通して得難い経験、知識、学び、幅広い人間関係を構築できました(もちろん辛いことや悲しい出来事も多くありましたが)

縁あって2023年4月に入社させて頂いたサイクラーズでもグループ戦略部としての業務の傍ら、TeamCyclersSNELを運営し、アスリートが競技向上だけでなく、その能力を活かして社会人としてのスキルアップもできるようにデュアルキャリアをサポートさせていただいております。また大学の監督にもなって、男女約30名の部員とも向き合う事で非日常体験も得られています…(困難8割達成感2割ですが、その2割がとてつもない達成感だったりします、あれ? 2:8の法則??)

物事は協調しながら成し遂げることを体感、また私は今まで沢山の方々によって助けていただきこの歳まで来ているので、「自分が少しでも誰かの役に立てれば」という思いもあります。

それにしてもなぜ自分が自転車に取りつかれてしまったのか、、、爽快感、勝利の高揚感、達成感、自分の力次第でいくらでも移動できる無限の可能性等々、色々要因はありますが、最近気づいたことがあります。それは自分の力で前に踏み出せるからだ。

踏み出す=やってみる。これが自分にとっての原点である東北一周をやってみたことにつながるのかなと…このように、物事をやり切ることで得るものが何かしらあるという事を実際に体現しているので、今も心掛けるようにしています(サイクラーズグループのPVVのValueのひとつである挑戦とリンクすると勝手につけています。汗!)

例えば40代での15kgのダイエット成功なども…(動機は不純でしたが、ランニングを始めたおかげで70kmのトレランも完走するレベルまで到達できました)そして、自分の子供にも同じ時期に同じような経験をさせるべきと考え、我が子には小学校5年になったら自転車で帰省することを課すようにしました(もちろん自分も一緒に)。

さすがに東北一周するほどの時間はないので(体力も)、川崎の自宅



から実家のある静岡県富士市までの145kmにとどめておりますが、これを自分と一緒に1日で走り切ることに。子供たちは3人。長女(今春より女子大生)、次女(今春より女子高生)は、それぞれ小5年の時に14時間かけてクリア! 2人共やり切る力やコミュ力がついたように感じます。(親子としても素晴らしく濃い時間を過ごせました)



次は4年後に控える長男(現在小2)の番。私は50歳越えのザ・おっさん…

145kmを一緒にクリアできるように、そしてまた何かを得られるように長男坊と一緒に今から準備していきたいと思っております!

それまでは、仕事でもプライベートでもデュアルキャリアを自分が実践しながら一歩ずつやり続けること。

長々とお付き合い頂き、有難うございました。(丁)